

# 木更津市公共下水道事業 事業再々評価

平成 20 年 11 月  
千葉県木更津市

## 木更津市の概要

本市は千葉県の中西部に位置し東京湾に面している。東京都心からの移動距離は、東京湾北側を周回した場合70-80km、東京湾アクアラインを利用した場合45km程度である。



## 事業の必要性(汚水)



### 【汚水】

- 生活環境の改善
- 東京湾の富栄養化防止
- 盤洲干潟の保全
- 希少動物や植物を育む重要な海岸



## 下水道事業の概要(汚水)



## 指標1 費用効果分析(汚水)

総 便 益 ( B )	2,672億円
総 費 用 ( C )	2,109億円 (1,586億円)
費用便益比 ( B/C )	1.3 (1.7)

## 指標2 事業の進捗状況(汚水)

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度までの整備面積は、事業計画2.455haに対して、1.638haを整備し、整備率は67%である。
処理場用地の取得状況	全用地を取得済である。
処理施設の供用状況	事業計画の処理能力57,000m <sup>3</sup> /日に対し、43,050m <sup>3</sup> /日を整備し、整備率は76%である。
供用開始区域の接続状況	接続率88%である。
地元情勢等	木更津市議会の理解及び地元住民の協力は得られている。

## 指標2 事業の進捗状況(汚水)



## 指標3 社会経済情勢等(汚水)

指 標	状 況
社会経済情勢	金田地区土地区画整理事業の事業化や圏央道の一部供用開始がされているものの、既に計画に見込んでいるため、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にはない。
自然環境条件	東京湾の水質汚濁に係わる水質環境基準に変更はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

## 指標4 コスト縮減・代替案(汚水)

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤碎石等再生資材の利用、最上流マンホールの小型化により、コスト縮減に努めている。
代替案	当市の市街化状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が適している。

## 対応方針(汚水)案

木更津市公共下水道事業(汚水)は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当該事業を継続していく方針です。

## 事業の必要性(雨水)



### 【雨水】

- 浸水による被害から住民の安全と財産を守る



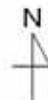
## 事業の概要(雨水)

東京湾アクアライン

木更津市役所

木更津下水処理場

圏央道



凡	例
	下水道計画区域 (高規格対策区域)
	整備済み区域
	雨水幹線
	雨水ポンプ場
	木更津下水処理場

木更津市公共下水道事業(雨水)

館山自動車道

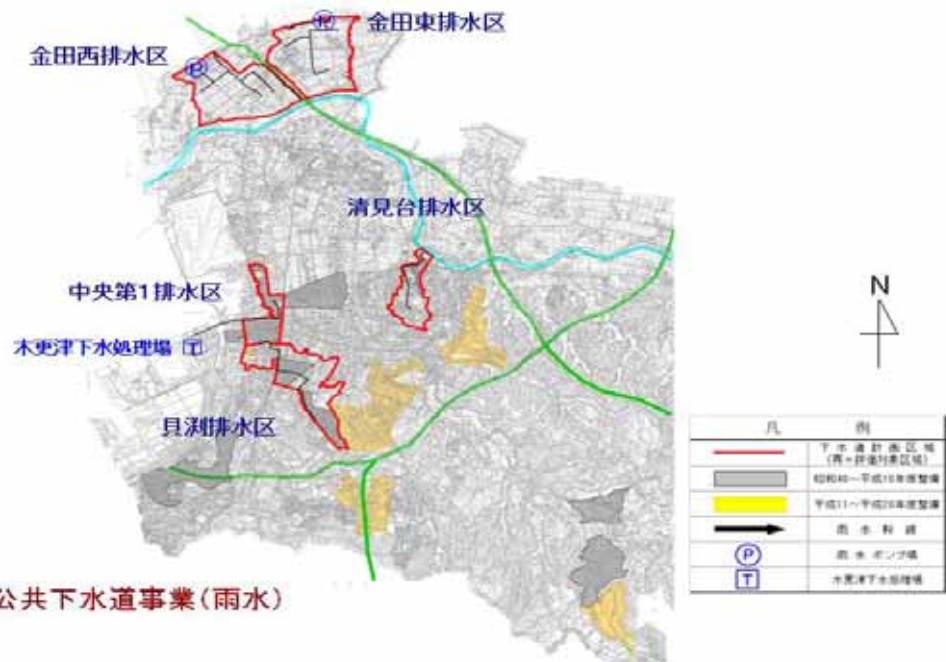
## 指標1 費用効果分析(雨水)

総 便 益 ( B )	1,091 億円
総 費 用 ( C )	476 億円
費用便益比 ( B/C )	<b>1.5~3.2</b>

## 指標2 事業の進捗状況(雨水)

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度までの整備面積は、事業計画478haに対して、54haを整備し、整備率が11%である。
地元情勢等	木更津市議会の理解及び地元住民の協力は得られている。

## 指標2 事業の進捗状況(雨水)



## 指標3 社会経済情勢等(雨水)

指 標	状 況
社会経済情勢	金田地区土地区画整理事業の事業化や圏央道の一部供用開始がされているものの、既に計画に見込んでいるため、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。



## 指標4 コスト縮減・代替案(雨水)

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤碎石等再生資材の利用により、コスト縮減に努めている。

## 対応方針(雨水)案

木更津市公共下水道事業(雨水)は今後、順調な進展が見込まれることから、当該事業を継続していく方針です。